

群馬県立歴史博物館年報

第 39 号

平成29年度版

群馬県立歴史博物館

目 次

I	事業の概要	1
1	展示活動	1
2	教育普及	11
3	歴博アカデミー	15
4	調査・研究	17
5	資料の収集・整理	23
6	利用状況	25
7	グランドオープン	29
II	組織及び運営	30
1	運営組織	30
2	歳出・歳入決算概要	30

I 事業の概要

1 展示活動

(1) 常設展示

ア 東国古墳文化展示室

大項目	中項目	主な展示資料
綿貫観音山古墳の世界	墳丘に立ち並ぶ埴輪群像	埴輪（あぐら男子、正座女子、三人童女、皮袋女子、振分髪男子、鍬持ち男子、盾持ち男子、馬曳き男子、馬、帽子、盾、家）
	巨大石室と豪華な副葬品	突起付冑、金銅装大帯、金銀装頭椎大刀、銀錯龍文大刀、金銅心葉形透彫杏葉、金環、銀環、銀空玉、三累環頭大刀、矛身・石突、鉄鏃、挂甲小札、鉄籠手、鉄脛当、鉄胸当、金銅環状鏡板付轡、鉄地金銅張心葉形鏡板付轡 鉄轡、鉄地金銅張鞍金具、鉄壺鏡、鉄板張壺鏡、金銅歩揺付雲珠、金銅歩揺付辻金具、金銅歩揺付飾金具、金銅花弁形鈴付雲珠・辻金具、鉄雲珠、鉄辻金具、須恵器、土師器
	東アジアの中の上毛野	獣帯鏡、銅水瓶、歩揺付飾金具

イ 原始展示室

大項目	中項目	主な展示資料
遊動する旧石器人	岩宿遺跡の発見	岩宿遺跡土層剥ぎ取り
	狩猟採集民の道具	岩宿遺跡出土石器（複製、原品【国指定】）、石器（下触牛伏遺跡・三和工業団地Ⅰ遺跡・上白井西伊熊遺跡【県指定】・東長岡戸井口遺跡・柏倉芳見沢遺跡・市之関前田遺跡・ハヶ入遺跡ほか）
	移動生活と石器づくり	石器づくり映像、3万5千年前のムラ〔復元画〕、槍先形尖頭器（房谷戸遺跡）、局部磨製石斧（上泉唐ノ堀遺跡）、石棒（下鎌田遺跡）、石材サンプル（黒色安山岩、黒色頁岩、黒曜石、チャート、結晶片岩、大山産石英安山岩）
成熟する縄文社会	土器文化と定住生活	縄文土器（白井北中道遺跡・波志江中屋敷遺跡・分郷八崎遺跡・中野谷松原遺跡・糸井宮前遺跡・三原田遺跡・矢太神沼遺跡・天神原遺跡・保美濃山遺跡・千網谷戸遺跡ほか）、有舌尖頭器（見溜井遺跡ほか）、石斧（小島田八日市遺跡）、石鏃（八木沢清水遺跡ほか）、石匙・石錐（糸井宮前遺跡）、ハンバーグ状炭化物（行田大道北遺跡）、凹石・石皿（糸井宮前遺跡）、打製石斧（房谷戸遺跡）、磨製石斧（中村横壁遺跡）、黒曜石原石（糸井宮前遺跡）、ヒスイ大珠（白川傘松遺跡）、中野谷松原遺跡模型
	縄文人の祈り	土偶（天神原遺跡・中栗須滝川Ⅱ遺跡）、獣面把手（上丹生屋敷山遺跡・神保植松遺跡）、土面（本遺跡）、岩版・独鈷石（中栗須滝川Ⅱ遺跡）、石棒（南蛇井増光寺遺跡）
縄文至宝の部屋		土製耳飾り（千網谷戸遺跡）【国指定】、深鉢（房谷戸遺跡）【国指定】、石槍（黒熊第5遺跡）、両尖尖頭器（黒井峯遺跡）、ヒスイ（硬玉）製大珠（高崎情報団地Ⅱ遺跡）【市指定】、「の」の字状石製品（白石大御堂遺跡）、石製垂飾（大上遺跡）、岩版（北米岡遺跡）【国指定】

農耕社会への道のり	再葬墓の世界	弥生土器（押手遺跡・沖Ⅱ遺跡【県指定】・上人見遺跡・神保植松遺跡・七日市観音前遺跡ほか）、人歯骨製垂飾（八束脛洞窟遺跡）、石鍬（安養寺森西遺跡）
	水稻農耕文化の展開	炭化米（有馬条里遺跡）、磨製石斧（南蛇井増光寺遺跡・新保遺跡）、石庖丁（荒砥宮川遺跡）、弥生土器（清里庚申塚遺跡・有馬遺跡）、木製農具（新保遺跡）、板状鉄斧（川端遺跡）、新保遺跡模型
	人の移動と社会の再編	鉄剣（有馬遺跡）、鹿角製柄頭（新保田中村前遺跡）、鉄鏃（有馬遺跡ほか）、石戈（古立東山遺跡）、銅戈（三ツ俣遺跡）【町指定】、銅鏡（長谷津遺跡）、鉄釧（石墨遺跡）、骨角歯牙製品（新保田中村前遺跡）、土器（貝沢柳町遺跡・中居町一丁目遺跡・新保遺跡・荒砥上ノ坊遺跡・東上之宮遺跡ほか）

ウ 古代展示室

大項目	中項目	主な展示資料
東国の開拓と古墳社会	平野の大開発と古墳の登場	三角縁神獣鏡（川井稻荷山古墳）、舟形木製品（下田遺跡）、石田川式土器（石田川遺跡）、壺形土器（前橋天神山古墳）
	巨大古墳を生み出した力	儀仗・小銅鐸（中溝・深町遺跡）、石製品（下佐野遺跡）、短甲・冑（鶴山古墳）、鉄鋌（上丹生屋敷山遺跡）
	馬文化と東国の要衝	韓式系土器（蔵屋敷遺跡）、鉄製轡（西大山遺跡1号古墳）、馬形土製品（高崎情報団地Ⅱ遺跡）同向式画文帯神獣鏡（古海原前1号古墳）
	上毛野のむらとくらし	黒井峯・西組遺跡模型
東国の政治と文字文化	上毛野国から上野国へ	馬具・鉄製武器（川額軍原Ⅰ遺跡）、軒丸瓦・文字瓦「放光寺」〔複製〕（山王廃寺）、唐三彩一陶枕（多田山12号墳）「総社バーチャルツアー」〔VRコンテンツ〕
	文字を書く・読む・伝える	上野三碑模型、山上多重塔模型、石製紡錘車（矢田遺跡）、鬼瓦（黒熊中西遺跡）文字瓦（上野国分寺跡）
	都と東北を結ぶ道	飛鳥京・藤原宮・平城宮出土木簡〔複製〕
	揺れ動く政治と社会	上野国交替実録帳〔複製〕、「上野国交替実録帳の世界」〔映像コンテンツ〕

エ 中世展示室

大項目	中項目	主な展示資料
東国武士の原風景	鎮守府將軍の末裔	耕作痕地層剥ぎ取り標本 耕作痕遺構面剥ぎ取り標本
	赤城山南麓の開発と信仰	新田義重讓状〔複製〕、新田義重置文〔複製〕、虚空蔵菩薩懸仏、虚空蔵菩薩坐像、赤城大明神御本地、小鳥が島出土鏡、虚空蔵菩薩坐像（懸仏）
	石塔と石仏のある風景	石造不動明王立像〔複製〕、五輪塔（水輪）未製品、五輪塔（火輪）半製品、宝篋印塔（相輪欠）、宝篋印塔、五輪塔、仁治の碑〔複製〕
	世良田のにぎわい	木造月船琛海椅像、普光庵出土蔵骨器（古瀬戸瓶子）、伝新田義貞椅像、栄朝禪師椅像〔複製〕
大乱の始まり	新田氏から上杉・長尾氏へ	新田義貞と南北朝の動乱（シアター）、太平記絵巻〔複製〕、鎌倉府執事奉書（長楽寺文書）〔複製〕、鎌倉公方家寄進状（長楽寺文書）〔複製〕、長尾憲明寄進梵鐘、碁盤（伝上杉顕定所用）、釣り鐘型瓦灯、銅製花瓶、銅製火舎香炉

	越境する人と文化	青磁碗、青磁小皿、白磁小皿、白磁八角杯、渥美蓮弁文壺、銭、古瀬戸瓶子（蔵骨器）、古芦屋霰窯、天目茶碗、青磁大皿、青白磁梅瓶
	上州ブランドの黎明	小侍従書状〔複製〕、砥石、鉄黒漆塗六十二間小星兜、鉄黒漆塗六十二間小星兜、金箔押六十二間小星兜、鉄黒漆塗六十二間小星兜、雪下胴具足
戦乱から統一へ	自立する戦国領主	関東幕注文〔複製〕、上杉輝虎書状、上杉輝虎安堵状
	戦国の城を探る	内耳鍋、中国産磁器片（青磁碗・白磁碗・青磁香炉）、国産陶器片（皿・壺・碗）、茶臼（上臼）、砥石、神保植松城模型
	戦国の村の歳時記	長楽寺永禄日記〔複製〕

オ 近世展示室

大項目	中項目	主な展示資料
泰平の世の始まり	上野国の大名	井伊直政画像〔複製〕、金小札黒糸威具足、松平直賢黒印状
	村のくらしと新田開発	農耕図、上野国利根郡上川場村之内谷地組御検地水帳、キリシタン訴人高札、力田遺愛碑〔複製〕
躍動する民衆	蚕糸・織物業の隆盛	蚕養育手鑑、猫絵、座繰り、関東市町定日案内、桐生書上家織物取引図、前橋藩糸商人仲間鑑札、女職蚕手業草、書上勝房像
	水陸交通の十字路	中山道分間延絵図〔複製〕、中山道御下向之図、関所手形、旅枕、高瀬舟〔模型〕、利根川図志、倉賀野宿・河岸復元模型、水陸交通の十字路・上州〔映像〕
	参詣と湯治	日本名山図会、写止両山記、諸国温泉功能鑑、上州草津温泉図
	華開く郷土文化	小八木人形、渋川往来、括要算法、前橋町々祭礼行列絵巻、算額
封建社会の崩壊	災害と人びとのくらし	上福島中町遺跡出土遺物、浅間山吹出之絵図、頼潤公幼育御諭
	横浜開港と幕末の動向	水戸天狗党絵巻〔複製〕、一揆勘弁の木札、ガラス器

カ 近現代展示室

群馬の文明開化	製糸業の近代化	富岡製糸場模型、碓氷社模型、富岡日記音声
	貿易と海外との交流	碓氷社生糸商標、生糸販路拡張ニ関スル意見書、ドイツ製顕微鏡、英国議会調査報告書
	群馬の教育文化	養蚕日誌、第五回内国勸業博覧会名誉金牌授与状（養蚕改良高山社）、蚕体模型、桑模型
	明治期の群馬県政	群馬県治一覧、群馬県案内、修身説約、一府十四県連合共進会絵はがき
戦争とくらし	群馬の軍事施設	高崎十五連隊真景、連隊歴史、岩鼻火薬製造所爆発事故一覧表、岩鼻火薬製造所保育証
	戦時下の生活	中島飛行機軍用機模型、木製プロペラ、東京都集団疎開資料、桑皮ズボン、アメリカ軍投下ビラ
新しい群馬の息吹き	戦後復興のシンボル	群馬交響楽団馬上ティンパニー、群馬交響楽団定期演奏会パンフレット、旧版上毛かるた、上毛かるた原画
	経済成長と変化するくらし	スバル 360、ラビットスクーター、群馬ニュース〔映像〕、アプト式第三軌条、観光絵はがき
	現代群馬のあゆみ	明治から平成にかけての県内（高崎市・館林市・神流町・嬭恋村）の写真

キ 第4回テーマ展示

「もうひとつのお正月 -国指定重要有形民俗文化財 上州の小正月ツクリモノ」

(ア) 期間 平成29年12月9日(土)～平成30年3月4日(日) 開催日数 68日

(イ) 趣旨

元日を中心とした正月に対し1月15日前後を小正月という。小正月は「百姓の正月」ともよばれるように、農耕の儀礼と結びつき、1年の豊作を予祝し、秋の稔りを占うためのツクリモノがつくられてきた。本県のツクリモノは全国的に見ても、その種類の豊富さ及び製作の技術面でも優れている。本館及び本館の前身である旧群馬県立博物館では、昭和32年以降、ツクリモノの調査・収集を行い、収集した資料のうち737点が平成6年12月に国の重要有形民俗文化財として指定された。これらはかつての農山村の小正月の様子や信仰の在り方について知ることができるとともに、地域的特色をよく示した資料である。本展ではその多様性と造形の美しさ、諸作の豊作を願う心を込めたツクリモノについて紹介する。

(ウ) 主催 群馬県立歴史博物館

(エ) 会場 群馬県立歴史博物館 テーマ展示室

(オ) 展示構成と主な展示資料

神体・偶像

道祖神(吾妻郡中之条町)、便所神(利根郡みなかみ町)、カカシガミ(吾妻郡中之条町)

祈願品

農道具一式(多野郡神流町)、福俵(多野郡神流町)、粟穂稗穂(多野郡上野村)、雉子車(吾妻郡長野原町)、花菓子(吾妻郡中之条町)

削り掛け

十六花(渋川市)、ハナ(藤岡市) ツル(吾妻郡中之条町)、カメ(吾妻郡中之条町)、伸し花(利根郡片品村)、

呪具類

粥搔き棒(前橋市)、孕み箸(渋川市)、カタナ(安中市)、鬼の歯(多野郡神流町)

削り掛け道具

ハナカキナタ(沼田市)、ホダレナタ(吾妻郡東吾妻町)、マガリセン(吾妻郡中之条町)

(カ) 展示資料総数 108点

(キ) 入館状況 期間中の総観覧者数：12,261人 一日平均：180人

ク 第5回 テーマ展示

「明智光秀の源流—沼田藩土岐家中世文書—」

(ア) 期間 平成30年3月17日(土)～平成30年6月24日(日) 開催日数 13日(平成29年度分)

(イ) 趣旨

沼田藩土岐家に伝来された中世文書と関係資料42点(個人蔵、当館寄託ほか)を展示する。沼田藩土岐氏は美濃国出身の土岐明智氏の一族で、「土岐家文書」は土岐明智氏関係文書22通と土岐石谷氏関係文書13通を主体とする。藩祖定政は織田信長を討った明智光秀の又従兄弟にあたる。また、石谷氏関係文書の一部が近年倉敷市の林原美術館で発見されたが、そこには本能寺の変が明智氏と土佐長宗我部氏の共同作戦であったことを思わせる1通が含まれ、全国的に大きな話題を呼んだ。第95回企画展「織田信長と上野国」の関連展示として位置づけ、企画展を補完するとともに、相乗的な誘客を見込む。

- (ウ) 主催 群馬県立歴史博物館
- (エ) 会場 群馬県立歴史博物館 テーマ展示室
- (オ) 展示構成と主な展示資料
 - 一 土岐定政と沼田藩土岐氏
土岐家家譜 定政伝記 源定政軍器軍功由来書
 - 二 奉公衆土岐明智氏
足利尊氏御内書 足利直義奥上署判下文 足利義詮袖判下文 足利義満御判御教書
 - 三 奉公衆土岐石谷氏
関東下知状 足利義満御判御教書 室町幕府奉行人連署奉書 足利義持御判御教書
 - 四 美濃守護家
上杉謙信書状 足利尊氏御判御教書
- コラム 中世セラミック産業を保護した明智氏
美濃焼 天目茶碗
- (カ) 展示資料点数 42点
- (キ) 入館状況（平成30年3月末日現在）
期間中の総観覧者数：3,491人 一日平均：269人

(2) 企画展示・特別展示

ア 特別収蔵品展

「綺羅美耀 - 武士の時代の名宝 -」(第3回テーマ展示)

- (ア) 期間 平成29年7月15日(土)～8月31日(木) 開催日数42日
前期：7月15日(土)～8月6日(日) 後期：8月8日(火)～8月31日(木)
- (イ) 趣旨
「綺羅美耀」とは、戦国大名の北条氏が軍勢を集める際に発給した古文書の中に登場する語句で、北条氏は綺麗に身なりを整えて参陣することを求めた。中世及び近世の武家社会は、こうした戦に関わる刀剣や甲冑などの武具に象徴される。今日においては貴重な歴史を物語る資料であるとともに、美術品としての価値も高いことから、多くの人々を魅了している。そこで、グランドオープンに合わせ、国・県の重要文化財を中心に、刀剣や甲冑、古文書のみならず、神仏に関する資料や武家の教養の一端を示す絵画資料なども展示し、武士の時代を生きた人々の営みを紹介する。
- (ウ) 主催 群馬県立歴史博物館
- (エ) 会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室・テーマ展示室
- (オ) 展示構成と主な展示資料 (◎は重要文化財、○は県指定重要文化財)
 - 第1章 装い、備え—刀剣・甲冑の美—
 - ◎太刀 銘了戒（世良田東照宮蔵）
 - 刀 銘濃州関住兼定作 立袈裟駕籠釣瓶（本館蔵）
 - 高崎藩右京拵大小並びに武具（本館蔵）
関ヶ原合戦絵巻（本館蔵）
文箱・碁盤（勝山家資料）（本館蔵）
 - 第2章 花押と印章—古文書の世界—
 - ◎長楽寺文書（長楽寺蔵）

- 新田家関係文書（個人蔵）
- 小林重政言上状（小林家文書）（個人蔵）

第3章 祈り、願いーみ仏のすがたー

- ◎絹本墨画出山釈迦図（長楽寺蔵）〈前期〉
- 絹本著色親鸞聖人像（妙安寺蔵）〈後期〉
- 木造不動明王立像（総持寺蔵）

第4章 潤い、彩りー絵画資料の美ー

- ◎泰西王侯図（満福寺蔵）〈後期〉
- 松平大和守家歴代藩主画像（孝頭寺蔵）〈後期〉
- 紙本金地著色孔雀牡丹図 谷文晁筆（浄運寺蔵）〈前期〉
- 紙本金地著色秋草花卉図 酒井抱一筆（浄運寺蔵）〈前期〉

(カ) 展示資料総数 83件 88点

(キ) 関連事業

ギャラリートーク

日 時 7月30日(日)、8月6日(日)、8月11日(祝)、8月26日(土)の14:00～14:30

場 所 企画展示室・テーマ展示室

特別収蔵品展講演会

日 時 8月5日(土) 14:00～15:30

テーマ 「紙に書かれた歴史を目に見えるかたちにする～創作と史実の「はざま」～」

講 師 立正大学 教授 佐多芳彦氏

場 所 視聴覚室

(ク) 入館状況 期間中の総観覧者数：17,382人 一日平均：414人

イ グランドオープン記念 第93回企画展

「海を渡って来た馬文化ー黒井峯遺跡と群れる馬ー」

(ア) 期間 平成29年9月30日(土)～11月26日(日) 開催日数 50日

(イ) 会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室・テーマ展示室

(ウ) 展示構成

プロローグ

I 倭人と馬の出会い

◇初期の馬具 末山里3号墳(韓国 金海博)、行者塚古墳、新開1号墳(国重文)

◇北河内地域における馬飼育の開始 葎屋北遺跡、四條畷市周辺の遺跡、長原高廻り古墳 群船形埴輪(国重文)

II 馬生産のひろまり～畿内から東国へ～

◇東国への最初の波 伊那谷地域の資料、剣崎長瀬西遺跡、福泉洞10・11号墳(韓国 福泉博)、玉田28号墳(韓国 慶尚大博)

◇5世紀後半の大転換 埼玉稻荷山古墳(国宝)、金井東裏遺跡、金井下新田遺跡、井出二子山古墳、福泉洞23号墳(韓国 福泉博)、池山洞44号墳(韓国 慶北大博 国立金海博物館)

スポット よみがえった古墳人 金井東裏遺跡復顔プロジェクト

◇甲古墳人復顔 首飾古墳人復顔 全身復元模型

III 馬飼いのむらを掘る～黒井峯遺跡とその周辺～

◇群馬県域における馬飼育の実態 黒井峯遺跡(馬飼いのむら) 白井遺跡群(牧)

IV 東アジアの馬飾り—金属工芸の至宝

鶏林路 14 号墳（韓国 国立慶州博）、徳川洞A地区 21 号墳（韓国 国立慶州博）、藤ノ木古墳（国宝）、金鈴塚古墳（国重文）、埼玉将軍山古墳、酒巻 14 号墳（国重文）

V 古代国家と東国の馬

藤原宮大極殿出土馬骨 長根羽田倉遺跡 半田中原・南原遺跡 柳久保遺跡

(エ) 資料点数 483 点

(オ) 頒布品・出版物等

図録：A4 判 200 頁有償配布（税込 1,800 円）

(カ) 関連行事

■オープニングセレモニー 9 月 30 日（土） 9:00～9:30

主催者挨拶（知事 大澤正明、館長 右島和夫）

来賓祝辞（県議会副議長 萩原渉、韓国国立公州大学校教授 洪漣植）

テープカット

■記念展開催記念 館長特別講演 9 月 30 日（土） 13:30～15:00

「海を渡って来た馬文化」右島和夫（群馬県立歴史博物館 館長）

■日韓交流記念講演会及び鼎談 10 月 1 日（日） 13:30～16:00

「5・6 世紀の朝鮮半島と倭」

洪 漣植氏（韓国 福泉博物館 館長）通訳：高田貫太氏（国立歴史民俗博物館 准教授）

鼎談「5・6 世紀の朝鮮半島と倭」

洪 漣植氏（韓国 福泉博物館 館長）×右島和夫（群馬県立歴史博物館 館長）

通訳：高田貫太氏（国立歴史民俗博物館 准教授）

■記念展特別シンポジウム「海を渡ってきた馬文化」 10 月 22 日（日） 12:00～16:00

パネラー

12:00～12:10 右島和夫（群馬県立歴史博物館 館長）

12:10～13:00 諫早直人氏（奈良文化財研究所 研究員）

13:00～13:50 青柳泰介氏（奈良県立橿原考古学研究所 調査第一係長）

14:00～14:50 高田貫太氏（国立歴史民俗博物館 准教授）

ディスカッション 15:00～16:00

コーディネーター：右島和夫（群馬県立歴史博物館 館長）

■連続講座

連続講座① 10 月 8 日（日）13:30～15:40

「金井遺跡群の調査と馬文化」徳江秀夫氏（(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 専門調査役）

「古墳時代豪族の地域経営と馬生産の導入～上毛野を例に～」若狭徹氏（明治大学文学部 准教授）

連続講座② 10 月 15 日（日）13:30～15:40

「黒井峯遺跡等から見た古墳時代馬の生態」石井克己氏（元 渋川市教育委員会 文化財保護課長）

「古代「群馬」の馬」前澤和之氏（上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会 委員）

連続講座③ 10 月 28 日（土） 13:30～15:00

「古人骨からよみがえる金井に生きた人々」舟橋京子氏（九州大学大学院 講師）

連続講座④ 11 月 5 日（日） 13:30～15:00

「“甲を着た古墳人”はどんな顔？～復顔師が語る古墳人骨の秘密～」戸坂明日香氏（株式会社エーラボ）

連続講座⑤ 11 月 11 日（土） 13:30～15:00

「馬生産から見た古墳時代の伊那谷」渋谷恵美子氏（長野県飯田市教育委員会）

■第6回古代東国文化サミット関連行事 11月19日(日)

【木曾馬が「群馬の森」にやってくる!】

中川剛氏(木曾馬の里・乗馬センター 飼育・調教総括)

■ギャラリー・トーク 学芸員による展示解説(全5回、14:00～15:00)

10月7日(土)、10月15日(日)、11月3日(金・祝)、11月18日(土)、11月25日(土)

(キ)入館状況

期間中の観覧者数 11,819人 一日平均 236人

ウ 第94回企画展

「昭和なくらし、そしてスバル。」

(ア)期間 平成29年12月16日(土)～平成30年2月25日(日) 開催日数 56日

(イ)会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

(ウ)展示構成

第1部 スバル家族のタイムトラベル

古くから残る暮らしの道具を実際に見て触れてもらう教育展示の考え方を基軸にし、昭和時代を中心に現代までの道具の進化をたどり、暮らしの変化を考える機会とした。

◇明治、大正時代 はがま、おひつ、鉄なべ、箱膳、たらい、せんたく板、氷冷蔵庫など

◇昭和時代 スバル360、電気釜、ローラー式電気洗濯機、黒電話、白黒テレビなど

◇平成時代 全自動洗濯機、6ドア冷蔵庫、ロボット掃除機、IH炊飯ジャーなど

◇そのほか 昭和な遊び(めんこ、お手玉、けん玉)、写真でたぐるあの日あのととき(昭和の家族スナップ)、昭和なジオラマ「わが家にスバルがやってきた」(1/12スケール)、子ども向けワークシート

第2部 スバルのものづくり・ことづくり

ものづくりと人の関わりを、本県の産業を牽引する株式会社SUBARUを一例として紹介した。

◇スバル ヴィジブ2 コンセプトカー(2014年ジュネーブモーターショー出展)

◇技術者へのインタビュー紹介(等身大パネル)

◇シート体験(ラグジュアリーシートとスポーツシートの座り心地体験)

◇インストルメントパネル体験(昭和と平成のインパネ比較)

■展示指導

染川香澄氏(ハンズ・オン・プランニング代表)

本間浩一氏(慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究所 研究員)

(エ)資料点数 135点

(オ)頒布品・出版物等

図録:A5判64頁有償配布(税込400円)

(カ)関連行事

■記念セミナー 12月23日(土) 14:00～15:30

「昭和の家族の情景から絆を再発見する」本間浩一氏(自分史活用推進協議会 副理事長)

■記念ワークショップ 1月14日(日) 14:00～15:30、2月24日(土) 11:00～16:00

「写真と模型で味わう家族の情景」本間浩一氏(自分史活用推進協議会 副理事長)

■昭和なイベント 12月23・24日、1月6～8日、2月10日～12日

「ガラポン抽選会&駄菓子プレゼント」

(キ) 入館状況

期間中の観覧者数 10,835 人 一日平均 193 人

エ 第95回企画展

「織田信長と上野国」

(ア) 期間 平成 30 年 3 月 17 日 (土) ～ 5 月 13 日 (日) 開催日数 13 日 (平成 29 年度分)

(イ) 会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

(ウ) 展示構成

プロローグ 信長公記 (建勲神社)、南蛮胴具足 (岐阜市歴史博物館)

I 信長

◇天下布武 唐物肩衝 銘初花 (徳川記念財団)、君台観左右帳記 (東北大学附属図書館、国立歴史民俗博物館)、天正二年茶会記 (宮帯文庫)、日野烏丸家文書 (中京大学) ほか

◇長篠合戦 織田信長像 (大徳寺)、長篠合戦図屏風 (長浜城歴史博物館)、落合左平次背旗 (東京大学史料編纂所)、法螺貝・陣鐘 (真田宝物館)、小幡氏関係資料 (甘楽町教育委員会) ほか

◇信長と東国大名 上杉家文書 (上杉博物館)、皆川家文書 (文化庁)、榊原家文書 (個人)、伊達家文書 (仙台市博物館) ほか

II 一益

◇東国御一統の城 箕輪城出土遺物 (高崎市教育委員会)、前橋城出土遺物 (群馬県教育委員会)、遠藤山城家文書 (仙台市博物館) ほか

◇滝川一益 太刀 銘高綱 (静嘉堂文庫美術館)、革嶋家文書 (京都府立京都学・歴彩館)、皆川家文書 (文化庁) ほか

◇神流川合戦 飯塚家文書 (群馬県立文書館)、新編武蔵国風土記稿 (埼玉県立歴史と民俗の博物館) ほか

III 小幡の地

◇織田信雄 織田信雄書状 (名古屋市博物館、中京大学、甘楽町教育委員会)、織田常真書状 (古田織部美術館) ほか

◇小幡織田七代 観音図・茶釜 (宝積寺)、柄杓・陣笠・盆 (個人/甘楽町教育委員会) ほか

◇楽山園 楽山園出土遺物 (甘楽町教育委員会) ほか

エピローグ 八木家文書 (群馬県立文書館)

(エ) 資料点数 135 点

(オ) 頒布品・出版物等

図録：A4 判、146 頁、有償配布 (税込 960 円)

リーフレット：三つ折り A5 判、無償頒布

(カ) 関連行事

■講演会 3 月 18 日 (日) 13:30～15:00

「織田信長と東国」金子拓氏 (東京大学史料編纂所准教授)

■ギャラリー・トーク 学芸員による展示解説 (毎週土曜日、14:00～15:00)

(キ) 入館状況 (平成 30 年 3 月末日現在)

期間中の観覧者数 3,302 人 一日平均 254 人

(3) 展示解説

解説員による常設展示解説業務は、グランドオープン以降の8月より開始し、10月からは定時解説を休止して随時及び予約解説を実施した。また、企画展開催時には解説員が手書きで作成した「展示資料 Q&A」を該当展示資料の前に設置し、来館者が自由に持ち帰ることができるようにした。

解説実施回数

	定時解説		随時解説		予約解説		学芸員解説		解説計		質問解説 件数
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
7月					2	20	2	72	4	92	345
8月	50	447	1	8	6	95	4	61	61	611	288
9月	23	136	2	25	5	162	0	0	30	323	230
10月			12	63	6	89	5	126	23	278	334
11月			16	46	7	115	6	121	29	282	225
12月			3	6	1	10	2	50	6	66	96
1月			6	10	2	61	0	0	8	71	226
2月			0	0	2	68	0	0	2	68	152
3月			1	3	4	85	2	50	7	138	210
合計	73	583	41	161	35	705	21	480	170	1929	2106

* 定時解説は、10時半及び14時から行う常設展示解説。

* 随時解説は、来館者の希望に応じて行う常設展示解説。

* 予約解説は、団体等の事前申込による解説希望に対して解説員が行う常設展示解説。

* 学芸員解説は、学芸員が行う常設展示解説及び企画展示解説。

* 質問解説は、解説員が観覧者の質問に答えたり、説明したりするもの。

展示資料Q&A配布枚数

VOL.	第93回企画展	第94回企画展
1	386	364
2	331	318
3	328	252
4	525	207
5	516	484
6	443	337
合計	2529	1962

2 教育普及

(1) 学校教育との連携

「たくましく生きる力をはぐくむ～自ら学び、自ら考える力を～」(平成29年度群馬県学校教育の指針)を目指す学校に対して、次のとおり事業を実施し学校教育との連携強化に努めた。

ア 学校団体の利用促進のための広報活動

県内小・中・特別支援学校および県外小学校に、学校向け利用案内パンフレットを配布した。また、第94回企画展「昭和なくらし、そしてスバル。」のチラシを社会科の学習内容とリンクする県内の小学校3・4・5年生全員に配布し、歴史博物館の利用を呼びかけた。

イ 学校向け体験・学習プログラムの実施

(ア)歴史を楽しむためのワークブックの活用

展示室を見学する小学校低・中学年向けに「上毛かるた歴史探検(かるたん)」、小学校高学年向けに「はにわ・古墳歴史探検」の2種類のワークブックを作成した。

(イ)「昔の道具調べ」の実施

企画展示室で、「むかしの道具カード」を用いた調べ学習を実施した。

(ウ)「土器・はにわ拓本」の実施

本物の土器やはにわを使った拓本の体験学習を実施した。

(エ)「昔の道具体験」の実施

学習室で、石うすや天秤棒などの昔の道具を実際に使用した体験学習を実施した。

(オ)「暮らしと灯り」の実施

視聴覚室で、提灯や白熱灯など、むかしの明るさを体感する学習を実施した。

(カ)「火おこし・火打ち」の実施

中庭で、きりもみ式や舞ざり式の火おこし、火打ちの体験学習を実施した。

ウ 臨時休館日の学校団体受け入れ

展示替え等の臨時休館日には、学校団体のみ受け入れ、展示見学を利用できるようにした。

エ 近代美術館との連携

隣接する近代美術館の学校向けプログラムや展示見学とローテーションを組んで両館を利用できるようにした。

(2) 広報活動

ア ちらし配布

県内各小・中・特別支援・高等学校、県内教育機関、県内文化会館、県内各市町村公民館、県内博物館、県内図書館、県内報道機関、県内観光施設等

イ 県広報課関係広報

ぐんまちゃんの掲示板、ぐんま広報、グラフぐんま、ぐんま情報トッピング等

ウ 県内報道機関へのPR

上毛新聞本社、読売新聞前橋支局、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞社前橋支局、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、上毛新聞ぱれっと編集室、上毛新聞タカタイ編集室、朝日ぐんま、群馬よみうり、群馬東部よみうり、日本放送協会前橋放送局(出演を含む)、群馬テレビ(出演を含む)、エフエム群馬(出演を含む)、ラジオ高崎(出演を含む)等

エ 広報誌掲載

タウン情報誌、月刊情報誌、歴史関連雑誌等

オ 紀要配布

県内教育機関、県内各市町村教育委員会、県内外博物館、県内図書館、国関係機関等

カ 年報をホームページに掲載

年報を当館ホームページに PDF ファイルで掲載

キ 学校団体利用促進広報

県内小・中・養護・高等学校、県内各市町村教育委員会、県外（埼玉、東京、神奈川等）小学校への利用案内の配布

県総合教育センター初任者研修の受け入れ

校長会・教頭会・社会科主任会の見学受け入れ

オ ホームページの充実

資料一覧や資料画像等、掲載情報の充実

イベントや休館日を確認できる開館カレンダーの掲載

ニュースレターを当館ホームページに PDF ファイルで掲載

Facebook ページの更新

カ 群馬の森来園者に対する広報の充実

公園入口へのポスター掲示

キ 各種イベントへの参加

東国文化サミットで、はにわキーホルダー等のワークショップを実施

第3回ぐんまフェアPRブースで、ポスターの掲示と企画展等チラシの配布を実施

ぐんまマラソンPRブースで、馬のペーパークラフト等のワークショップを実施

ぐんま総合情報センター「サロンドG」でプレゼンテーション

(3) ボランティア

歴史博物館ボランティアとして、次の活動に従事している。

- ・体験ボランティア…体験学習の学習者に対する支援、指導、準備
- ・カレッジガイド…展示室内での土器パズル等のハンズオンを支援

ア 概要

ボランティアは現在約 40 名が登録している。土・日曜日、祝日の活動が中心で、歴史や社会貢献、社会的有用労働に興味を持っている人の参加が多い。

年代別に見ると、60 代以上が大半を占めている。60 代以上の人は退職後に、社会のために何か役立ちたいという理由でボランティア活動を始めた人が多く、土・日曜日だけでなく平日も活動している。

ボランティアの居住地は、当館から 1 時間以内の市町村（高崎市・前橋市・藤岡市・伊勢崎市）が多いが、中には東毛地区や県外から長時間かけて来館するボランティアもいる。

今年度も、夏休み中に学生ボランティア（県内高校生）を募集した。高校生 40 名が、各種サマーワークショップとオープンイベントにおける指導補助に従事した。

イ 年間の活動人数

体験ボランティア（34 名）

学校向けプログラムと一般向けプログラムの支援として、活動（7 月～3 月）

高校生ボランティア（40 名）

イベント補助として活動（7,8 月） ※カレッジガイドは含まない。

ウ 研修会の実施

体験学習の指導を円滑に進めるために、研修会を実施している。

- | | |
|----------|---|
| 7月17日 | 体験ボランティア説明会（29年度の活動説明、展示室見学等）
高校生ボランティア説明会（29年度の活動説明、展示室見学等） |
| 3月22～24日 | 体験ボランティア説明会（30年度の活動説明、展示室見学等）
高校生ボランティア説明会（30年度の活動説明、展示室見学等） |

エ その他

- ・ボランティアには館から食費・交通費の支給はない。
- ・ボランティアへの連絡のため、毎月、予定表を発行している。
- ・4年以上経過し60日以上活動したボランティアに対して感謝状を贈呈する。

(4) 刊行物の発行

	名 称	規格・頁数	部数
書籍	群馬県立歴史博物館 常設展示図鑑	変形B5 112頁	3,000
	第93回企画展「海を渡って来た馬文化－黒井峯遺跡と群れる馬－」	A4 200頁	1,500
	第94回企画展「昭和なくらし、そしてスバル。」	A5 64頁	1,500
	第95回企画展「織田信長と上野国」	A4 146頁	1,800
	紀要第38号	A4 132頁	1,000
	年報第39号	A4 60頁	100
パンフレット類	群馬県立歴史博物館カレンダー(2017-2018)	A4 表裏	5,000
	群馬県立歴史博物館カレンダー(2018-2019)	A4 巻き三つ折り	30,000
	常設展示見学のしおり	A2 横・横四つ切り・蛇腹折り・山7つ	42,000
	よみがえれ!古墳人プロジェクト	A4 4頁	15,000
	学校団体向け展示見学ワークブック「上毛かるた歴史探検」	B5 8頁	10,000
	学校団体向け展示見学ワークブック「はにわ・古墳歴史探検」	B5 8頁	10,000
	平成29年度学校向け利用案内パンフレット	A4 表裏	7,000
	平成30年度学校向け利用案内パンフレット	A3 二つ折り	7,000
	ist テーマ展示 vol.3「綺羅美耀－武士の時代の名宝－」	A3 二つ折り	10,000
	ist テーマ展示 vol.4「もうひとつのお正月」	A3 二つ折り	5,000
	ist テーマ展示 vol.5「明智光秀の源流」	A3 二つ折り	5,000
	第94回企画展 昭和なジオラマ リーフレット	A5 4頁	5,000
	第95回企画展「織田信長と上野国」 リーフレット	A5 4頁	5,000
ちらし	グランドオープン	A4	20,000
	グランドオープン記念第93回企画展「海を渡って来た馬文化」vol.1	A4	20,000
	グランドオープン記念第93回企画展「海を渡って来た馬文化」vol.2	A4	5,000
	グランドオープンイベント「ミュージアムで楽しもう」	A4	200,000
	特別収蔵品展「綺羅美耀」	A4	20,000
	第94回企画展「昭和なくらし、そしてスバル。」	A4	33,750
	第94回企画展「昭和なくらし、そしてスバル。」 学校向け	A4	56,250
	第95回企画展「織田信長と上野国」	A4	30,000
ポスター	グランドオープン記念	B2	2,000
	グランドオープン記念第93回企画展「海を渡って来た馬文化」	B2	2,000
	第94回企画展「昭和なくらし、そしてスバル。」	B2	2,000
	第95回企画展「織田信長と上野国」	B2	1,700

3 歴博アカデミー

平成29年度の体験者総数

(大人) 6,913 人	(子ども) 16,015 人	合計	22,928 人
--------------	----------------	----	----------

(1) ワークショップ・各種イベント参加

ア 体験プログラムの目的

- ・自らの体を動かし、五感を通して挑戦したり製作したりすることで、より深い達成感や感動を味わい、生きる力を育成する。
- ・過去の人間の生き方や願い、生活の知恵に根ざした伝統的な風習を体験的に学ぶことで、祖先への畏敬と親近感を深め、歴史や民俗に対する興味・関心を高める。
- ・参加体験型の学習形態により、体験者と職員・家族等とのコミュニケーションを通して、主体的に楽しく学習できる博物館を目指す。
- ・展示に関連した情報を提供することにより、体系的・共通体験的に来館者の展示に関する理解を深める。

イ 体験プログラム等の形態と実施場所

- ①個人の来館者に対応した体験（ワークショップ等）……学習室・展示室・学習ホール
- ②各種イベントに対応した出前体験……各種イベントのPRブース等
- ③団体等に対応した出前体験……社会教育団体の施設等

ウ 体験プログラム等の内容と体験者数(平成29年度)

- ①個人の来館者に対応（個人・親子向け体験学習メニュー）

【サマーワークショップ】① 学校の夏季休業日 10時30分～15時30分

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
まが玉作り名人（有料） 7/23～8/31	滑石を削り勾玉を作ることで、古代の人びとの思いや技術への関心を高める。	1,656 人
古代東国古墳文化消しゴム 7/15～7/30、8/8～8/14、8/22～8/31	古墳や埴輪、まが玉等をモチーフにした消しゴムを作ることで、東国古墳文化への関心を高める。	2,885 人
キラキラ☆レジンまが玉 8/15～20	レジン液を使ってまが玉を作ることで、歴史への関心を高める。	1,693 人
れきはく火おこし 7/15～8/31	舞切りによる火おこしを通して、園児や小学校低学年の歴史への興味関心を高める。	410 人

【サマーワークショップ】② 学校の夏季休業日 10時00分～12時00分

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
はにわ作り博士を目指せ！ 8/1～6	粘土で埴輪を作ることで、東国古墳文化への関心を高める。	82 人
子どもセミナー 7/22、29、8/5、12、19	小学生や中学生に対して、群馬の歴史を解説することを通して、歴史への興味関心を高める。	63 人

【グランドオープンイベント】学校の夏季休業日 開館～閉館

ぐんまちゃんをさがせ2 7/15～8/27	オープニングイベントとして、歴史博物館・近代美術館・群馬の森公園の中でぐんまちゃんを探すスタンプラリーを実施。	9,400 人
--------------------------	---	---------

【通年ワークショップ】土曜・日曜・祝日 10時30分～15時30分

まが玉（有料）	滑石を削り勾玉を作ること、古代の人びとの思いや技術への関心を高める。	827人 7/23～8/31 を除く
---------	------------------------------------	--------------------------

【企画展関連ワークショップ】土曜・日曜・祝日 10時30分～15時30分

馬のペーパークラフト	（公財）馬事文化財団 馬の博物館が製作した「馬の博物館 ペーパークラフト」を用いた共同ワークショップ形式で実施。	862人
甲冑着体験	古墳時代の甲と冑の装着体験をする。	347人
昭和なプラバン	昭和なくらしやスバルに関する道具やものをテーマにしたプラバンを作ることを通して、展示への興味関心を高める。	1,055人
昭和なおもちゃ	昭和なくらしやスバルに関する道具やものをテーマにしたおもちゃを作ることを通して、展示への興味関心を高める。	2,210人
SUBARU マークのキーホルダー	（株）SUBARU から提供されたステンレス製のSUBARU のマークの研磨作業を通して、自動車や自動車部品などへの興味関心を高める。	568人
戦国武将扇子	戦国時代の武将が用いた家紋や花押を使った扇子を作ることを通して、家紋や花押への興味関心を高める。	213人
戦国武将ポストカード	戦国時代の武将が用いた家紋や花押を使ったポストカードを作ることを通して、家紋や花押への興味関心を高める。	333人

②東国文化等に対応した出前親子向け体験

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
火おこし選手権 11/19	舞切りによる火おこしを実施し、博物館や東国文化への理解を深める。	281人

個人対象体験学習 実施人数合計	22,885人
-----------------	---------

③社会教育団体等に対応した出前体験（申し込みに応じて随時実施）

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
総合福祉センターへの出前体験 講座（浮世絵多色刷り体験） 9/5に実施	体験プログラムを希望する社会教育団体に随時対応。木曾街道六拾九次「倉賀野」の浮世絵多色刷り体験を主とした浮世絵の体験講座を実施。	1団体 43人
団体対象体験学習 実施人数合計		1団体43人

エ 指導者

職員の他、一般県民から募集した『体験学習ボランティア』の協力により実施している。

4 調査・研究

(1) 資料調査

ア 趣旨

郷土群馬の歴史や文化を考える上で、有益な各種資料の調査を「平成 29 年度群馬県立歴史博物館資料調査員の設置並びに資料調査実施要領」に基づいて実施した。

(ア) 資料調査の目的

博物館の調査研究及び展示等に必要な資料の発見や調査を行い、博物館の資料とする。

(イ) 資料調査員

資料調査員は、研究者及び有識者の中から委嘱する。

資料調査員は、考古・歴史・美術工芸・民俗の各部門について適任者を選定する。

委嘱の期間は、平成 29 年 6 月 31 日から平成 30 年 3 月 31 日までとする。

イ 調査テーマ一覧

No.	分野	調査テーマ	調査員	担当職員
1	考古	藤岡市坂原遺跡出土資料の基礎的調査	文挾健太郎	石田典子
2	考古	渋川地域における古墳時代から古代の馬匹関連遺跡の基礎的調査	石井克己	飯田浩光
3	歴史	近世織田家伝来史料の調査	小安和順	青木裕美
4	歴史	上野国高崎藩遠藤家文書の整理	秋山寛行	中山剛志
5	歴史	新田家資料の調査	細谷昌弘	森田真一
6	教育普及	東国古墳文化展示室の情報に関する韓国語化への取り組み	李スルチョロ ン	深澤敦仁

ウ 資料調査員会議

(ア) 第 1 回資料調査員会議

日時 平成 29 年 6 月 23 日（金） 午後 1 時 30 分～

会場 群馬県立歴史博物館会議室

議題 委嘱状交付、調査実施方法、調査計画の検討、その他

(イ) 第 2 回資料調査員会議

日時 平成 30 年 3 月 22 日（木） 午後 1 時 30 分～

会場 群馬県立近代美術館貴賓室

議題 資料調査成果についての報告及び質疑応答、その他

(2) 調査研究

博物館活動及び館職員の資質向上に資するために、今年度の調査研究計画を決定し実施した。

平成 29 年度調査研究テーマ一覧

No.	氏名	分野	テーマ
1	石田典子	考古	藤岡市坂原遺跡出土資料の基礎的調査
2	飯田浩光	考古	古墳時代～古代にかけての馬生産関連遺跡の基礎的検討
3	築瀬大輔	歴史	中近世移行期社会における地侍の研究
4	森田真一	歴史	上杉氏一族の研究
5	青木裕美	歴史	中近世移行期における地域社会の変容とその画期 －滝川一益関係文書の研究を通して－
6	中山剛志	歴史	江戸時代における測量技術の進展と幕府の政策について
7	築瀬大輔 森田真一 青木裕美 野口華世 ⁽¹⁾ 近藤聖弥 ⁽²⁾	歴史	室町期武家権力の研究
8	武藤直美	民俗	山村木工用具調査
9	深澤敦仁 李スルチョロン ⁽³⁾	教育普及	東国古墳文化展示室の韓国語版リーフレットの制作のための基礎調査
10	中村みき	教育普及	子どものためのハンズ・オン展示の実践に関する検討
11	小林伸之	教育普及	歴史博物館の学校団体利用促進についての研究
12	茂木潤平	教育普及	ボランティアの力を生かした博物館活動
13	原 千紘	教育普及	東国古墳文化展示室における学校団体利用プログラムの開発と活用について

(1) 前橋国際大学、(2) 前橋清陵高校、(3) (有) 毛野考古学研究所

(3) 各調査研究部門

ア 考古部門

調査研究として、石田主幹が「藤岡市坂原遺跡出土資料の基礎的調査」、飯田主任が「古墳時代～古代にかけての馬生産関連遺跡の基礎的検討」を実施した。

資料調査では、石田主幹が文挾健太郎資料調査員と「藤岡市坂原遺跡出土資料の基礎的調査」、飯田主任が石井克己資料調査員と「渋川地域における古墳時代から古代の馬匹関連遺跡の基礎的調査」をそれぞれ行った。

イ 歴史部門

調査研究として、築瀬補佐が「中近世移行期社会における地侍の研究」、森田主幹が「上杉氏一族の研究」、青木主幹が「中近世移行期における地域社会の変容とその画期－滝川一益関係文書の研究を通して－」、中山副主幹が「江戸時代における測量技術の進展と幕府の政策について」を実施した。また、築瀬補佐・森田主幹・青木主幹・野口華世氏（前橋国際大学）・

近藤聖弥氏（前橋清陵高等学校）が協同で「室町期武家権力の研究」を行った。

資料調査では、森田主幹が細谷昌弘資料調査員と「新田家資料の調査」、青木主幹が小安和順資料調査員と「近世織田家伝来史料の調査」、中山副主幹が秋山寛行調査員と「上野国高崎藩遠藤家文書の整理」をそれぞれ行った。

ウ 民俗部門

民俗部門は、今年度は武藤学芸員 1 名の構成により、調査研究活動が実施された。

テーマ展示「もうひとつのお正月－国指定重要有形民俗文化財 上州の小正月ツクリモノ」及び平成 30 年度に開催する第 97 回企画展「上毛かるた（仮）」に関連し、関連資料についての調査を実施した。

また、諸職資料としての山村木工用具コレクションに関連する調査研究を実施した。

エ 美術工芸部門

該当なし

(4) 紀要

『群馬県立歴史博物館紀要第 39 号』を刊行した。A4 判 100 頁内容は、以下のとおりである。

『群馬県立歴史博物館紀要第 39 号』執筆稿一覧

No.	執筆者	表題	種別		
1	梅澤重昭 文挾健太郎 石田典子	群馬県藤岡市坂原遺跡出土資料の基礎的調査 －神流川流域における緑色片岩製石棒・石剣の製作 遺跡－	和文 横書	40	報告
2	深澤敦仁	上毛野地域における前方後方形周溝墓の地域相	和文 横書	28	論文
3	飯田浩光	渋川市における古墳時代馬匹生産関連遺跡の様相	和文 横書	6	論文
4	築瀬大輔 藤井茂樹	近世豪農の由緒形成における戦国大名文書の利用	和文 縦書	8	論文
5	青木裕美	八木家文書とその伝来について	和文 縦書	18	論文

計 100 頁

(5) 企画展プロジェクト

ア 第93回企画展

(ア) プロジェクト委員

青柳 泰介氏（奈良県立橿原考古学研究所 調査第一係長）
諫早 直人氏（独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 研究員）
高田 貫太氏（国立歴史民俗博物館 准教授）
徳江 秀夫氏（公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団 専門調査役）
前澤 和之氏（上野三碑世界遺産登録推進協議会 委員）
若狭 徹 氏（明治大学文学部 准教授）
石井 克己氏（群馬県立歴史博物館 資料調査員）
右島和夫・花崎 晋・築瀬大輔・深澤敦仁・石田典子・森田真一・飯田浩光（当館）

(イ) 委員会の開催

今年度は全体検討会を1回開催し、借用交渉・手続きや展示室構成案など現状の報告を行なうと共に、展示品の選定や展示構成、関連行事について指導・助言を受けた。

日 時：平成29年5月13日（土）午前9時30分～

会 場：群馬県立歴史博物館 会議室

議 題：展示の進捗・借用資料・展示の構成について、韓国からの資料借用について、
関連行事について、図録について

イ 第95回企画展

(ア) プロジェクト委員

秋本 太郎氏（高崎市教育委員会文化財保護課主査）
金子 拓氏（東京大学史料編纂所准教授）
小嶋 圭氏（太田市立南小学校）
竹本 千鶴氏（國學院大学文学部兼任講師）
中島 直樹氏（玉村町教育委員会生涯学習課文化財係長）
小安 和順氏（群馬県立歴史博物館 資料調査員）
右島和夫・花崎 晋・築瀬大輔・深澤敦仁・森田真一・青木裕美（当館）

(イ) 委員会の開催

今年度は全体検討会を2回開催し、借用交渉・手続きや展示室構成案など現状の報告を行なうと共に、展示品の選定や展示構成、関連行事について指導・助言を受けた。

日 時：平成29年5月13日（土）午後1時～

平成29年11月25日（日）午前10時～

会 場：群馬県立歴史博物館 会議室

議 題：展示の進捗・借用資料・展示の構成について、韓国からの資料借用について、
関連行事について、図録について

ウ 第96回企画展

(ア) プロジェクト委員

小林 龍彦氏（前橋工科大学名誉教授）
中村 士氏（大東文化大学東洋研究所兼任研究員）

佐藤 賢一氏（電気通信大学大学院准教授）
酒井 一輔氏（伊能忠敬記念館学芸員）
右島和夫・花崎 晋・築瀬大輔・深澤敦仁・中山剛志・飯田浩光（当館）

（イ）委員会の開催

今年度は第1回全体会において展示構成の検討及び展示資料の選定を中心に行い、指導・助言を受けた。これを受けて第1回分科会で展示資料を絞り込み、第2回全体会で進捗状況の報告を行い、改めて指導・助言を受けた。また、企画展開催までのスケジュールを提示し、講演会の講師及び展示図録への執筆を依頼し、内諾を得た。

日 時：平成29年11月23日（祝・木）午後2時～

平成30年3月15日（木）午後1時～

平成30年3月29日（木）午後2時～

会 場：群馬県立歴史博物館 会議室

エ 第97回企画展

（ア）プロジェクト委員

山口 幸男氏（群馬大学名誉教授 日本郷土かるた協会理事長）
原口 美貴子氏（群馬大学非常勤講師 日本郷土かるた協会副理事長）
染川 香澄氏（博物館教育）
井坂 優斗氏（館林市教育委員会 館林市市史編さんセンター 学芸員）
右島和夫・花崎 晋・築瀬大輔・深澤敦仁・武藤直美・石田典子（当館）

（イ）委員会の開催

プロジェクト委員を選定した。委員会は未実施。

オ 第98回企画展

（ア）プロジェクト委員

山本 隆志氏（筑波大学名誉教授）
久保田 順一氏（群馬県文化財保護審議会専門委員）
須永 光一氏（太田市教育委員会教育部参事 歴史施設課長事務取扱）
田中 大喜氏（国立歴史民俗博物館准教授）
阿部 能久氏（鎌倉国宝館学芸員）
下田 裕康氏（富岡市立小野小学校教諭）
右島和夫・花崎 晋・築瀬大輔・深澤敦仁・森田真一・青木裕美（当館）

（イ）委員会の開催

今年度は全体会を1回開催し、展覧会の趣旨説明や第一次出品目録案などの現状報告を行い、それに対して展示品や展示構成についての助言を受けた。

（注）第94回企画展は、プロジェクト委員会はなし

(6) 個別研究と社会貢献

ア 社会貢献

No.	職員名	日時	内容		場所	
			事業名	タイトル	会場	所在地
1	右島和夫	平成29年11月11日(土)	荒牧祭特別展示「群馬県の古墳発掘の父・尾崎喜左雄博士展「パート2」	尾崎喜左雄博士と群馬の発掘調査	群馬大学中央図書館	群馬県前橋市
2	右島和夫	平成30年2月3日(土)	金井東裏遺跡ゾラマ完成記念講演会	金井遺跡群と古墳時代の渋川	渋川市埋蔵文化財センター	群馬県前橋市
3	右島和夫	平成30年3月10日(土)	昭和村ふるさと歴史文化講座	馬でつながる古墳時代の昭和村と金井東裏遺跡	昭和村役場第3会議室	群馬県利根郡昭和村
4	築瀬大輔	平成29年6月15日(木)	上毛新聞創刊130周年記念講演会「城ファンが集い〜ぐんまの城と戦国ロマン〜」	戦国史ー上州の150年戦争ー	上毛新聞社・上毛ホール	群馬県前橋市
5	築瀬大輔	平成29年6月25日(日)	あわら市郷土歴史資料館平成29年度特別展「あわらの殿様 多賀谷左近」講演会	関東の戦国時代と多賀谷氏	市民文化研修センター	福井県あわら市
6	築瀬大輔	平成29年8月19日(土)	「ひつじ大学地域文化講演会」	小幡氏と軍配田扇紋の国衆たち	吉井町文化会館	群馬県高崎市
7	築瀬大輔	平成29年10月31日(火)	「歴史講座ー中世武士の世界」	戦国時代の熊谷	熊谷市中央公民館	埼玉県熊谷市
8	築瀬大輔	平成29年11月18日(土)	「境史談会講演会」	伊勢崎地域の戦国時代	境東公民館	群馬県伊勢崎市
9	築瀬大輔	平成29年11月25日(土)	千代田町「光恩寺」歴史勉強会	戦国時代の「赤岩の渡」	光恩寺	群馬県邑楽郡千代田町
10	築瀬大輔	平成30年2月16日(金)	総社歴史勉強会(第2回)	厩橋城の戦国時代	前橋市総社公民館	群馬県前橋市
11	築瀬大輔	平成30年3月11日(日)	下仁田学 講演会	中世の下仁田	下仁田町公民館	群馬県甘楽郡下仁田町
12	石田典子	平成30年3月13日(火)	総社歴史勉強会(第3回)	旧石器時代のムラとくらし	前橋市総社公民館	群馬県前橋市
13	森田真一	平成29年5月1日(月)	岩鼻歴史研究会講演会	綿貫保と綿貫氏	岩鼻公民館	群馬県高崎市
14	中山剛志	平成30年2月24日(土)	第42回海洋教育フォーラム「利根川がつなぐ群馬と海」	群馬と海をつないだ江戸時代の利根川	昌賢学園まえばしホール	群馬県前橋市
15	武藤直美	平成30年2月3日(土)	しんとう・ふるさと歴史講座(第3回)	群馬のまつり〜ふるさとの民俗文化財〜	榛東村耳飾り館	群馬県北群馬郡榛東村
16	青木裕美	平成29年10月3日(火)	高崎社会大学	高崎の戦国時代	高崎市総合福祉センター	群馬県高崎市
17	青木裕美	平成29年10月7日(土)	群馬県立文書館「長期古文書講座」	中世文書概論・読解演習	群馬県立文書館	群馬県前橋市
18	青木裕美	平成29年10月14日(土)	群馬県立文書館「長期古文書講座」	中世文書読解演習	群馬県立文書館	群馬県前橋市
19	青木裕美	平成29年11月19日(日)	前橋市粕川歴史民俗資料館秋期企画展「前橋城絵図・上野国寛文国絵図を読む」連続講座	上野国絵図を読む	前橋市粕川歴史民俗資料館	群馬県前橋市
20	飯田浩光	平成29年11月10日(金)	共愛アコ科目:群馬を知る	古代東国文化の中心地群馬について	共愛学園前橋国際大学	群馬県前橋市
21	飯田浩光	平成30年2月16日(金)	しぶかわを知る連続講座第1回	「渋川の古墳時代〜馬文化の足跡」	渋川市東部公民館	群馬県渋川市
22	深澤敦仁	平成29年4月11日(火)	群馬火曜会	遺跡から見た群馬の名の由来	前橋ロングサンドホテル	群馬県前橋市
23	深澤敦仁	平成29年6月8日(木)	中央ろうきん友の会群馬地区「情報交換会議」	上野三碑について	群馬県勤労福祉センター	群馬県野中町
24	深澤敦仁	平成29年7月5日(水)	大泉町生き生き元気塾(第1・2回)	歴史講座「群馬の歴史再発見」	大泉町文化むら・大泉町城部公民館	群馬県邑楽郡大泉町
25	深澤敦仁	平成29年7月11日(火)	大泉町生き生き元気塾(第3・4回)	歴史講座「群馬の歴史再発見」	大泉町寄木戸南公民館・大泉町公民館	群馬県邑楽郡大泉町
26	深澤敦仁	平成29年8月2日(水)	埋蔵文化財専門講座	東国文化学習のための歴史博物館の活用	群馬県埋蔵文化財調査センター	群馬県渋川市
27	深澤敦仁	平成29年9月20日(水)	かぶら文化講座	歴史が行き交う いにしへの南牧村	南牧村活性化センター	群馬県甘楽郡南牧村
28	深澤敦仁	平成29年11月11日(土)	荒牧祭特別展示「群馬県の古墳発掘の父・尾崎喜左雄博士展「パート2」	尾崎博士と渋川地域の古墳発掘	群馬大学中央図書館	群馬県前橋市
29	深澤敦仁	平成29年11月11日(土)	渋川市古巻公民館成人学級	ぐんまの古墳を学ぶ〜渋川地域の古墳むかしといま〜	渋川市古巻公民館	群馬県渋川市
30	深澤敦仁	平成29年11月12日(日)	観音塚考古資料館企画展「小さな古墳の物語」講演会	群馬県における群集墳構造のモデル化	高崎市八幡第3地区公民館	群馬県高崎市
31	深澤敦仁	平成29年12月3日(日)	第26回特別展「小さな石のものがたり」連続講座	群馬県の石製模造品	かみつけの里博物館	群馬県高崎市
32	深澤敦仁	平成30年1月16日(火)	総社歴史勉強会(第1回)	古墳時代の地産産物 石製模造品の生産と流通	前橋市総社公民館	群馬県前橋市
33	茂木潤平 原千紘	平成29年9月5日(火)	高崎社会大学	浮世絵にふれる	高崎市総合福祉センター	群馬県高崎市

5 資料の収集・整理

(1) 資料整理

ア 考古部門

新収蔵庫に移転した収蔵資料の配架整理及び台帳との整合確認を実施した。

イ 歴史部門

新収蔵庫に移転した収蔵資料の配架整理及び台帳との整合確認を実施した。

ウ 民俗部門

民俗第一収蔵庫に戻した収蔵資料について、正規の場所に再配架作業を実施した。併せて台帳との整合確認作業を実施した。

エ 美術工芸部門

新収蔵庫に移転した収蔵資料の配架整理及び台帳との整合確認を実施した。

(2) 保存管理

資料整理及び管理は各研究室・収蔵庫・展示室ごとに行われるが、共通事項として保存環境の整備・資料の修復があり、以下の事業を行った。

ア 保存環境の整備

- ・収蔵庫・展示室の温湿度調整・記録（機械自動管理とデータロガーによる）
- ・虫菌害防止対策として、収蔵庫・展示環境の測定（飛来虫などを館職員で捕獲し記録）や清掃、整理整頓等の日常管理
- ・収蔵庫燻蒸（改修工事に伴う館外収蔵資料の館内復帰作業が終了したため、全ての収蔵庫について燻蒸を実施した）
- ・資料燻蒸（企画展に伴い、燻蒸庫にて資料燻蒸を2回実施した）
- ・東国古墳文化展示室にて国指定品を展示するため、パッシブインジケータを用いて有機酸及びアンモニアの測定を行った
- ・東京文化財研究所主催保存研修会への参加（青木学芸員）

イ 資料の修復及び保存修理

刀剣資料80振りと鉄砲資料80挺の手入れを各1回実施した。

(3) 収集資料

本年度の収集資料は、寄贈資料1件137点、購入資料0件、移管資料0件、採集資料0件で、合計1件137点。総計101,119点となる。

ア 平成29年度所蔵資料集計

部門	自然	考古	歴史	美術工芸	民俗	教育普及	合計
	件点	件点	件点	件点	件点	件点	件点
寄贈資料	0-0	0-0	0-0	1-137	0-0	0-0	1-137
購入資料	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
移管資料	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
採集資料	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
29年度	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
総計	129	32,891	45,285	2,641	19,043	1,130	101,119

イ 寄贈資料 1件137点

No.	部門	資料名称	点数	寄贈者	住所
1	1 美工	新田家資料 ※寄託からの切替	137点	個人	東京都

ウ 購入資料 0件

エ 移管資料 0件

オ 採集資料 0件

カ 寄託資料 2件2点 ※本年度は寄託更新年度ではなかったため、新規寄託のみを記載する。

No.	部門	資料名称	点数	寄託者	住所
1	1 美工	短刀 銘：上野国長谷部義重、嘉永七年二月日	1	個人	前橋市
2	1 美工	太刀 銘：大隅俊平作、以利根川砂鉄	1	個人	伊勢崎市

6 利用状況

(1) 利用者数

ア 月別利用者数

() 内は開館日数

月 (日 数)	4月 (0)	5月 (0)	6月 (0)	7月 (14)	8月 (28)	9月 (17)	10月 (26)	11月 (23)	12月 (16)	1月 (24)	2月 (24)	3月 (17)	計 (189)
観覧者				4,372	7,027	2,018	4,981	3,600	1,486	2,957	3,780	2,906	33,127
一 般				4,372	7,027	2,018	4,981	3,600	1,486	2,957	3,780	2,906	33,127
高・大学生				148	250	167	90	166	70	119	105	151	1,266
小・中学生				1,380	2,730	474	1,805	1,264	426	1,041	985	483	10,588
幼 年 者				342	661	108	155	208	126	217	239	139	2,195
身 障 者				175	233	94	164	143	84	129	181	149	1,352
小 計	0	0	0	6,417	10,901	2,861	7,195	5,381	2,192	4,463	5,290	3,828	48,528
行事参加者				5,564	12,464	455	1,473	1,341	1,585	3,284	3,474	1,032	30,672
計	0	0	0	11,981	23,365	3,316	8,668	6,722	3,777	7,747	8,764	4,860	79,200
累 計	0	0	0	11,981	35,346	38,662	47,330	54,052	57,829	65,576	74,340	79,200	

イ 学校団体等行事参加者数(幼・小・中学生観覧者数に含まれ、複数のプログラムに参加の学校もあり)

月 (日 数)	4月 (0)	5月 (0)	6月 (0)	7月 (14)	8月 (28)	9月 (17)	10月 (26)	11月 (23)	12月 (16)	1月 (24)	2月 (24)	3月 (17)	計 (189)
体験学習				0	0	47	206	0	0	0	0	0	253
土器・はにわ拓本				0	0	47	206	0	0	0	0	0	253
昔の道具				0	0	0	720	384	0	280	307	0	1,691
暮らしと灯り				0	0	0	587	626	0	267	218	0	1,698
火おこし・火打ち				137	0	213	197	139	0	0	0	0	686
展示学習				0	0	0	837	522	49	16	20	0	1,444
土毛かるた歴史探検				0	0	0	837	522	49	16	20	0	1,444
はにわ古墳歴史探検				249	0	251	202	59	11	0	0	0	772
昔の道具調べ				0	0	0	0	0	11	303	245	0	559
計	0	0	0	386	0	511	2,749	1,730	71	866	790	0	7,103
累 計	0	0	0	386	386	897	3,646	5,376	5,447	6,313	7,103	7,103	

ウ 行事参加者数(個人・団体)

月 (日 数)	4月 (0)	5月 (0)	6月 (0)	7月 (14)	8月 (28)	9月 (17)	10月 (26)	11月 (23)	12月 (16)	1月 (24)	2月 (24)	3月 (17)	計 (189)
行事参加者				5,564	12,464	455	1,473	1,341	1,585	3,284	3,474	1,032	30,672
学校団体行事参加者				386	0	511	2,749	1,730	71	866	790	0	7,103
計	0	0	0	5,950	12,464	966	4,222	3,071	1,656	4,150	4,264	1,032	37,775
累 計	0	0	0	5,950	18,414	19,380	23,602	26,673	28,329	32,479	36,743	37,775	

エ 団体利用者数

月 (日 数)	4月 (0)	5月 (0)	6月 (0)	7月 (14)	8月 (28)	9月 (17)	10月 (26)	11月 (23)	12月 (16)	1月 (24)	2月 (24)	3月 (17)	計 (189)
一般				2	4	3	10	10	1	1	3	3	37
団体数				2	4	3	10	10	1	1	3	3	37
人数				62	91	92	291	257	32	23	83	136	1,067
高・大生				1		2	2	2	1	1	1		10
団体数				1		2	2	2	1	1	1		10
人数				49		73	17	80	27	40	17		303
中学生							1		1	2	2		6
団体数							1		1	2	2		6
人数							12		11	22	41		86
小学生				4		5	24	10	1	9	8		61
団体数				4		5	24	10	1	9	8		61
人数				249		251	1,404	952	49	325	296		3,526
幼年							1	2	1				4
団体数							1	2	1				4
人数							21	64	18				103
身障													0
団体数													0
人数													0
社教等				7	11	4	7	8	5	4	12	5	63
団体数				7	11	4	7	8	5	4	12	5	63
人数				117	230	138	301	117	47	109	111	56	1,226
計	0	0	0	14	15	14	45	32	10	17	26	8	181
団体数	0	0	0	14	15	14	45	32	10	17	26	8	181
人数	0	0	0	477	321	554	2,046	1,470	184	519	548	192	6,311
招待者				175	249	242	1,806	435	106	250	411	237	3,911

オ 観覧者数

	有料観覧者	無料観覧者	合計	
第93回企画展 海を渡って来た馬文化	9/30~11/26 50日	6,186	5,633	11,819
第94回企画展 昭和なくらし、そしてスバル。	12/16~2/25 56日	6,125	4,710	10,835
第95回企画展 織田信長と上野国	3/17~3/31 13日	2,161	1,141	3,302
常設	189日	14,259	8,313	22,572

(2) 資料の特別観覧

下記の資料 40 件について特別観覧の申請があり承認した。

No.	資料名称	考古	歴史	美工	民俗	その他	計
1	島霞谷関係資料			21			21
2	妙安寺資料など 11 点			11			11
3	俵藤太物語絵巻			5			5
4	綿貫観音山古墳獣帯鏡ほか 5 点	5					5
5	大般若経（安部小泉麿経）		7				7
6	御下向之図		1				1
7	上杉輝虎書状（富岡家文書）など 6 点		6				6
8	ブルーノ・タウト資料 6 点			6			6
9	溪齋英泉「木曾街道六拾九次之内 沓掛駅平塚原雨中之景図」 など 4 点			4			4
10	小鳥が島出土鏡 12 点			12			12
11	ブルーノ・タウト資料 24 点			24			24
12	酒飯論絵巻 1 点			1			1
13	北村明道「断弦之図」など 3 点			3			3
14	鶴山古墳出土遺物など 151 点	151					151
15	軒丸瓦（正満コレクション） 2 点	2					2
16	森村西三「新田義貞像」など 3 件 129 点		129				129
17	楫取素彦ほか 9 点		9				9
18	絹本着色十六羅漢図			16			16
19	峯岸米造・文雄関係資料など 15 点		15				15
20	島霞谷関係資料「磁器製水性パレット」など 2 点			2			2
21	綿貫観音山古墳出土三累環太刀	1					1
22	菊川英山関連資料 12 点			12			12
23	新居喜左衛門日記（全 10 巻）		10				10
24	小正月のツクリモノ（ケズリバナなど） 10 点				10		10
25	山村木工用具 202 点				202		202
26	前橋市鳥瞰図		1				1
27	明治 37 年榛名湖開鑿書類など 17 点		17				17
28	綿貫観音山古墳出土「頭堆大刀」（文化庁蔵）	1					1
29	島霞谷関係資料「磁器製水彩パレット」など 2 点			2			2
30	伊勢崎藩酒井忠恒書など 6 点		6				6
31	土村明道「断弦之図」など 3 点			3			3
32	上毛かるた旧版一枚刷				1		1
33	西山左京宛真田信之書状ほか		5				5
34	吉田初三郎画「前橋市鳥瞰図」		1				1
35	刀名 濃州関住兼作			1			1
36	下河田村検地帳（寄託）など 3 点		3				3
37	蚕神御札 4 点				4		4
38	スバル 360		1				1
39	正満コレクション 雑木味遺跡出土 軒丸瓦	1					1
40	感謝状（原富岡製糸場）		3				3

(3) 資料の貸し出し許可

下記の資料70件について貸出許可の申請があり承認した。

貸出No.	資料名称	考古		歴史		美工		民俗		その他		計	
		実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真
1	版画上州富岡製糸場図の画像データの利用						1						1
2	高崎藩足軽具足及び下仁田戦争絵図の画像データの利用				2								2
3	(元龜3年)閏正月4日付上杉謙信書状など画像データ2点の利用						2						2
4	村上義清書状(小林家文書)の画像データの利用						1						1
5	天宮古墳出土小札甲の画像1点の利用		1										1
6	山上多重塔(複製)の画像1点の利用		1										1
7	群馬県立歴史博物館建物の画像3点の利用				3								3
8	伝酒井忠清座像の画像1点の利用				1								1
9	歌川広重「木曾海道六拾九次之内 新町」など13件の利用						13						13
10	版画「上州富岡製糸場図」画像データ1点の利用						1						1
11	高山社事務所写真帳画像データ8点の利用				8								8
12	「上野国碓氷郡上磯辺村与中野谷村就野論裁断之覚」画像データ1点の利用				1								1
13	「楳取素彦肖像」画像データ1点の利用				1								1
14	錦絵「富岡製糸場図」など画像データ2点の利用						2						2
15	鍍金銅経筒の貸出許可		1										1
16	「上州四方鉱泉閣邸之図」の利用				1								1
17	綿貫観音山古墳出土資料画像データ59点の利用		59										59
18	馬形埴輪(伝群馬県出土)画像データ2点の利用		2										2
19	島霞谷関係資料画像2点の利用						2						2
20	綿貫観音山古墳 埴輪「三人童女」など2点の画像利用		2										2
21	塚廻り古墳群 埴輪「女子倚像」の画像利用		1										1
22	綿貫観音山古墳 埴輪「三人童女」の画像利用		1										1
23	ブルーノ・タウト資料21点の利用						21						21
24	太刀「銘 上州住景重」の画像利用						3						3
25	富岡家文書「上杉輝虎書状」など2点の利用(画像利用3点)				3								3
26	湿版写真「コウモリ傘をさす島隆像」の画像利用						1						1
27	酒飯論絵巻の利用						1						1
28	富岡家文書「上杉輝虎書状」など2点の利用				2								2
29	東国古墳文化展示室風景写真の画像利用		1										1
30	版画上州富岡製糸場図の画像利用				1								1
31	綿貫観音山古墳出土埴輪「胡座を組み合掌する男子」の画像利用		1										1
32	上人見遺跡出土資料5点の利用		5										5
33	上野塚廻り古墳群出土埴輪「埴輪 ひざまづく男子」など画像データ3点の利用		3										3
34	高塚古墳出土武人埴輪の画像データの利用		1										1
35	上野塚廻り古墳群出土埴輪「馬」の画像データの利用		1										1
36	綿貫観音山古墳航空写真の画像データの利用		1										1
37	楳取素彦肖像の画像データの利用				1								1
38	綿貫観音山古墳出土埴輪 三人童女の画像データの利用		1										1
39	長楽寺蔵「絹本十六羅漢図」など16点						16						16
40	北村明道「断弦之図」など3点の画像						3						3
41	版画「元禄男」など12件(うち1件は寄託資料)						12						12
42	島霞谷像ほか7点の画像データ						7						7
43	楳取素彦肖像画など2点の画像				2								2
44	舞台遺跡出土品など154点の画像		154										154
45	井伊直政画像など4点の画像データ				4								4
46	楳取素彦肖像画の画像データ				1								1
47	「木曾街道六十九次之内倉賀野」の画像				1								1
48	長楽寺蔵「木造法照禅師月船探海像」の画像						1						1
49	山王庵寺緑釉陶器の画像データ		1										1
50	水窪遺跡出土軒丸瓦など3点の画像		3										3
51	版画「富岡製糸場図」など2点の画像						2						2
52	版画「木曾街道六拾九次之内新町」のポジフィルム						1						1
53	常設展示パネル「群馬県の鉄道・バス路線網の変遷と観光地」の画像				1								1
54	紙本版画「日本歴史教訓画二 新田義貞 船田入道 栗生左衛門」の画像						1						1
55	「刀 銘 濃州関住兼定作」の利用						1						1
56	群馬県立歴史博物館外観写真など3点の画像				3								3
57	文化庁蔵 綿貫観音山古墳出土埴輪群など2点の画像		2										2
58	水戸天狗堂絵巻の画像				1								1
59	文化庁蔵 綿貫観音山古墳出土埴輪群など2点の画像		2										2
60	かわら版「関東市町定日案内」の画像				1								1
61	上野塚廻り古墳群出土埴輪「馬」の画像データ		1										1
62	上野塚廻り古墳群出土埴輪「馬」の画像データ		1										1
63	版画「上州富岡製糸場図」など3点の画像						3						3
64	写真「岩鼻軽便鉄道」の画像				1								1
65	カッパの頭部模型の資料貸出画像							1					1
66	文化庁蔵「上野塚廻り第4号墳出土埴輪(大刀を持つ女子)の画像		1										1
67	天神原遺跡出土 立像土偶の画像		1										1
68	楳取素彦肖像の画像データ						1						1
69	版画 上州富岡製糸場図の画像データ						1						1
70	山王庵寺緑釉陶器の画像データ		1										1

(4) 資料の掲載許可

下記の資料27件について掲載許可の申請があり承認した。

No.	資料名称	考古		歴史		美工		民俗		その他		計	
		写真	他	写真	他	写真	他	写真	他	写真	他	写真	他
1	綿貫観音山古墳出土品	5										5	0
2	雷電神社跡古墳出土埴輪	27										27	0
3	高山社事務所所蔵写真帳など			22								22	0
4	「駅路復元ルート」			1								1	0
5	県重文 太刀 上州住景重作など					20						20	0
6	錦絵「佐野舟橋」など	3										3	0
7	ブルーノタウト資料					22						22	0
8	「水門合戦聞取書」(笠間市如意輪寺所蔵)			1								1	0
9	埴輪 鶏(群馬県旧剛志村出土)	1										1	0
10	楯取素彦肖像画			1								1	0
11	舞台1号墳出土高杯	1										1	0
12	避来矢(唐沢山神社蔵)					11						11	0
13	高塚古墳出土挂甲武人埴輪(群馬大学蔵)	1										1	0
14	江戸時代の羽子板							1				1	0
15	楯取素彦肖像画			1								1	0
16	高塚古墳出土 武人埴輪	1										1	0
17	「浅間焼吾妻川利根川泥押絵図」			1								1	0
18	紙本版画「日本歴史教訓画二 新田義貞 船田入通 栗生左衛門」			2								2	0
19	享保雛							1				1	0
20	吉田初三郎画「前橋市鳥瞰図」			1								1	0
21	上州座繰器							1				1	0
22	武寧王陵埴室墳	1										1	0
23	富岡製糸場模型			4								4	0
24	「役用日記」(新居喜左エ門)			89								89	0
25	鍾馗のぼり							1				1	0
26	蚕神御札							4				4	0
27	スバル360展示風景			1								1	0

7 グランドオープン

(1) 概要

2か年に及ぶ大規模改修が完了し、平成28年7月23日(土)にリニューアルオープンした後、文化庁の指導に基づく館内の環境測定及び改修工事の2年目検査を経て、平成29年7月15日(土)に、国及び群馬県指定重要文化財の展示を再開し、グランドオープンとなった。

ア 展示

(ア) 東国古墳文化展示室

国指定重要文化財「群馬県綿貫観音山古墳出土品」(275点)の一斉公開を開始した。

(イ) 原始展示室

国指定重要文化財「上野千網谷戸遺跡出土品」(24点)、国指定重要文化財「深鉢形土器／浅鉢形土器／群馬県勢多郡北橘村房谷戸遺跡出土」(2点)、国指定重要文化財「岩板(卜書：群馬県佐波郡境町米岡出土)」1点、県指定重要文化財「上白井西伊熊遺跡出土品一括」(9点)、県指定重要文化財「沖Ⅱ遺跡出土遺物」(15点)の公開を開始した。

(ウ) 古代展示室

国指定重要文化財「緑釉水注・緑釉壺・緑釉皿・銅鏡」(8点)、県指定重要文化財「古海松塚11号古墳出土品一括」(1点)、県指定重要文化財「西大山遺跡出土馬具」(1点)の公開を開始した。

(エ) 中世展示室

県指定重要文化財「虚空蔵菩薩懸仏」(1点)、県指定重要文化財「小鳥が島出土鏡」(1点)、県指定重要文化財「木造月船琛海椅像」(1点)、県指定重要文化財「普光庵出土蔵骨器」(1点)の公開を開始した。

(オ) 企画展示室・テーマ展示室

平成29年7月15日(土)～8月31日(木)の間、特別収蔵品展「綺羅美耀－武士の時代の名宝－」を開催した。

(2) 関連行事

ア オープニングスペシャルイベント

(ア) 7月15日(土) 9:15～11:00

岩鼻小マーチングバンド演奏

ゆるきゃら大集合(県内の歴史系ゆるきゃらがグランドオープンをお祝いして集合)

(イ) 7月16日(日) 13:00～13:30、14:30～15:00

「古武道気楽流柔術」演武(気楽流柔術保存会 練志館水科道場)

(ウ) 8月13日(日) 13:00～13:45、15:00～15:45

「黄泉寄席」林家つる子氏(落語家 ぐんま観光特使 高崎市出身)

イ オープニング記念セミナー

(ア) 館長記念講演会 7月15日(土) 14:00～15:30

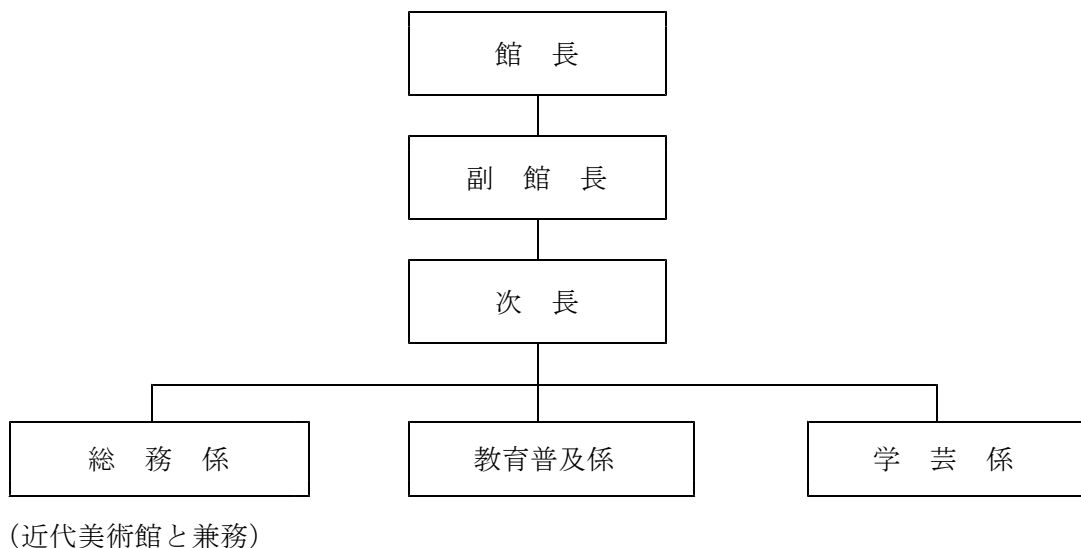
「観音山古墳の魅力」 右島和夫(当館)

(イ) 東国古墳文化記念講演会 8月20日(日) 14:00～15:30

「黄泉の国のものがたり～綿貫観音山古墳を中心として～」 土生田純之(専修大学文学部教授)

Ⅱ 組織及び運営(平成29年4月1日現在)

1 運営組織



2 歳出・歳入決算概要

(1) 歴史博物館費

単位：千円

事業名	決算額	内 訳			左のうち特定財源	
		事項名	内 容	金額	金額	内 訳
歴史博物館運営	132,943	嘱託職員経費	館長他嘱託職員人件費	27,567	60	雇用保険料個人負担分
		館管理運営	施設設備保守、光熱水費他事務経費	97,136		
		改修工事運営	資料保管	8,240		
博物展示	58,187	常設展示	展示制作・写真撮影	14,747	2,442	図録販売収入
		企画展示	展示制作	43,440		
教育普及活動	2,910	学校教育連携推進	学校向け展示見学用資料作成	1,391		
		れきはくアカデミー	学校向け及び一般向け体験学習実施	1,519		
調査研究	4,842	資料収集管理	資料収集、収蔵品管理、資料情報システムの運用	2,226		
		調査研究活動	資料調査、研究紀要作成	1,971		
		情報システム整備	収蔵資料管理・公開システムの構築	645		
合計	198,882				14,189	

群馬県立歴史博物館 年報

第39号（平成29年度版）

平成30年6月27日発行

発行：群馬県立歴史博物館

〒370-1293 高崎市綿貫町992-1

TEL (027) 346-5522

FAX (027) 346-5534